



モデル事業

いまこん通信 Vol.1

平成 24 年 11 月～12 月
明石コミュニティ創造協会
TEL: 078-918-5248

コミ創よりモデル事業が「今こんな感じ」とお伝えする発刊誌

モデル事業ってなに？

いま、協働のまちづくりの仕組みとして、全国的に地域交付金制度を導入する取り組みがすすまられています。明石市でも将来的に地域交付金を検討するにあたり、まず、交付金の受け手となる組織運営が必要となります。

そこで、既存の校区まちづくり協議会（以下、まち協）の体制の見直しや、合意形成のシステムづくりなど、その地域の実情に合った校区まちづくり協議会の組織強化を行うのがモデル事業です。

また、モデル事業の取り組みを調査・分析して、（仮称）明石市協働のまちづくり推進条例への反映を図ります。

改めて整理すると 次の2点に取り組む

- ①まちづくり協議会のパワーアップ
 - ・組織強化や合意形成のシステムづくりを図る
- ②協働のまちづくり推進組織のあり方を検討する
 - ・（仮称）明石市協働のまちづくり推進条例に反映させる
 - ・将来の地域交付金制度を検討する



コミ創 MEMO

モデル事業スケジュール

11月

- ・モデル事業の採択（松が丘、魚住、江井島の3校区に決定）
- ・松が丘校区と打ち合わせを実施
- ・魚住校区と打ち合わせを実施

12月

- ・江井島校区と打ち合わせを実施
- ・3校区は今後の進め方を検討中
- ・協働のまちづくり推進組織について調査

コミ創 MEMO

モデル事業の打ち合わせ

11月下旬から12月上旬にかけて、松が丘、魚住、江井島の3校区で、順次モデル事業の話し合いが行われました。当日は、明石市市民協働推進室から、モデル事業についての目的や役割などの説明があり、その後、モデル事業をどう進めていくか、どういった取り組みを行うかなど活発な意見交換が行われました。今後は、3校区に合った取り組みや方法を、地域で話し合いを重ねていき、進めていくこととなりそうです。



いまこん通信ってなに？

明石市の協働のまちづくりを進めるひとつとして、モデル事業がスタートしました。今後、明石コミュニティ創造協会（以下、コミ創）が校区のみなさんと一緒になって、まちづくりのお手伝いをしていきます。モデル事業の取り組みや状況については、モデル事業実施校区のみならず、全校区へお知らせするため、明石市連合自治協議会の理事会の開催に合わせて、2ヶ月に1回発行させていただきます。

モデル事業 実施校区の状況



校区によって、さまざまな進め方や方法について話し合われました。

モデル事業の打ち合わせ時に各校区で挙げられた意見を報告します。

MATSUGAOKA

松が丘

モデル事業打ち合わせ
日時：11月27日（火）
18:00～19:30
参加：15名
場所：松が丘小コミセン

まち協のパワーアップに向けて広報誌を全戸配布するなど、周知することが必要。

- ほかに、
- ・地域の目標に向かうために現状の活動を見直すことが必要。
 - ・現状を把握するためアンケートの実施を検討する。
 - ・団地や大学と連携しているが、継続したものにすることが大切。などの意見が挙げられました。

UOZUMI

魚住

モデル事業打ち合わせ
日時：11月29日（木）
10:00～12:00
参加：13名
場所：魚住小コミセン

地域づくり計画を策定するため住民への周知とプロジェクトチームの公募を予定。

- ほかに、
- ・多くの人に関わってもらえるよう間口を広げることが大切。
 - ・計画段階から巻き込んでいくことが大切で、スタート時に周知していきたい。
 - ・規約の整備などで、継続して関わってもらえる体制を担保する必要がある。などの意見が挙げられました。

EIGASHIMA

江井島

モデル事業打ち合わせ
日時：12月5日（水）
16:00～17:30
参加：22名
場所：江井島小コミセン

アンケート調査を検討。プロジェクトチームの構成など、新たな人の発掘も大切。

- ほかに、
- ・様々な課題について広く住民の声を聞くためのアンケートを実施してはどうか。
 - ・子ども会や高年クラブなど団体の状況も把握しておくべき。
 - ・これからは参加者の価値観に合った組織づくりが大切。などの意見が挙げられました。